

桜の花からつつじへと春爛漫の季節を迎えています

皆様におかれましては、年度末を迎え何かと慌ただしいご多忙な日々をお過ごしのこととお察しいたします。

特にご家族の中に、卒業、就職、転勤、退職、入園、入学、進学等人生の転機を迎えられているご家庭では、**希望と期待の季節でもあります。ご多幸を祈念いたします。**



長崎県内においては、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言も解除されましたが、国内他県においては第4波が到来したかとも思える感染症が多発し、拡大を見ている地域もあり、**また変異ウイルスの発生拡大についても予断を許さない状況にあります。**

これからも油断をせず、マスク着用で、密を避け、他県との往来は不要不急の外出を避け、暫くの間自粛するようにしたいと考えています。

ワクチンの早期接種により、コロナ感染が終息し、落ち着いた普段通りの日常が早く取り戻せるように願っているところです。

県議会においては令和3年度の議会活動がスタート致しました。

2月議会の開会日には、これまで委員長として務めてきた長崎県の最大の課題である、人口減少雇用対策特別委員会の活動報告を行い、さらに意見書として取りまとめ議案として提出し満場一致採択されました。

そして一般質問に登壇し、

- ① **新型コロナウイルス感染症対策**
- ② **脱炭素社会**
- ③ **国道207号改良延伸計画**
- ④ **教育の充実**
- ⑤ **佐世保重工新造船休止について** 等、県当局の見解を質しました。

ご多忙の中、議会傍聴にお出で頂き激励を頂きました皆様には心から厚く感謝いたします。

新年度では、私は引き続き改革21会派の代表を務めさせて頂き、新たに農水経済委員会及び観光、I R、新幹線対策の特別委員会に籍を置き、**活力ある県政を目指し活動を行います。皆様の更なるご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。**

令和3年4月

